

平成31（令和元）年度第1回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会
選定委員会 議事概要

開催日	令和元年5月	時間	10:00～11:30
-----	--------	----	-------------

1 次第

1 協議会会長あいさつ
2 委員紹介
3 選定委員委嘱
4 協議会規約，選定委員会細則について
5 選定委員長，副委員長選出について
6 協議会会長諮問
7 協議
（1）採択手続きについて
① 平成31年（令和元）度の採択について
② 採択事務組織について
③ 採択事務日程について
④ 教科書研究について
（2）研究委員の研究事項報告について
（3）第2回選定委員会の進め方について
（4）留意事項について
（5）その他
8 その他
9 閉会

2 協議

発言者	発言要旨
【委員】	（第2回選定委員会の進め方について） 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について文部科学省通知に従った説明があったが，第2回選定委員会での答申作成についてはどのように進めていくのか。
【事務局】	令和2年度の一年間の使用であること，平成30年度検定において新たな図書の申請がなかったため会社等の変更がないことの2点により，令和2年度使用中学校教科用図書採択においては，平成27年度採択における調査研究の内容を活用し，各選定委員

【委員】	からの意見や指摘を受け，選定委員会としての答申を作成する。 意見や指摘は口頭で発言すれば良いのか。
【事務局】	よい。ただし全ての教科について，研究資料や選定資料を熟読して来ていただきたい。
【委員】	全ての教科について研究資料と選定資料を読み直し，継続使用に適しているかどうかについて再考してくるということによいか。
【事務局】	よい。第2回の選定委員会では，全ての教科書について，全委員の意見をもとに継続使用するかどうかについての協議を考えている。

平成31（令和元）年度第2回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会
選定委員会 議事概要

開催日	令和元年7月	時間	13:00～16:30
-----	--------	----	-------------

1 次第

1 開会 2 説明 本日の予定について 3 協議 (1) 日程及び審議手順，評価方法について (2) 答申方法について (3) 審議 (4) その他 4 閉会

2 議事

発言者	発言要旨
【選定委員】	<p>研究資料の観点を基に協議</p> <p>【国語科に関する主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・内容の特徴・表現の観点で光村図書出版は，教材末の「学習の窓」で学習のポイントを簡潔にまとめている。「読むこと」の教材末には「確信しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階に構造化した設問を立てている。・光村図書は，スペースにゆとりをもたせてあり，1年生の文字フォントが2・3年よりも大きくなっており，発達段階に応じた配慮がされている。・これらを総合的に考えると，現在採択されている光村図書出版の教科書について継続使用が適切と考える。 <p>【書写についての主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・光村図書出版は，各教材ごとの目標が学年ごとに段階を追って設定されており、「目標」や「学習の窓」などに学習のポイントが明示されている。

・ 1 時間の内容が見開き 2 ページの紙面構成になっていて、目標と振り返りがわかりやすい位置に明記されている。

・ これらを総合的に考えると、現在採択されている光村図書出版の教科書について継続使用が適切と考える。

【地理についての主な意見】

・ 帝国書院は、写真や図表のクオリティーが高く、興味や関心を引く構成になっており、たいへんよく工夫されている。

・ 帝国書院の見開き 1 時間の紙面が、「導入」・「学習課題」・「本文」・「確認」の流れで構造化され、基礎的・基本的な知識や技能、概念が確実に習得できるように配慮されている。

・ 帝国書院では、本時の学習を活用して思考を促す工夫がされ、自分なりに判断・表現する言語学習を毎時間繰り返して行うことができる。

・ これらを総合的に考えると帝国書院の継続使用が適切と考える。

【地図についての主な意見】

・ 帝国書院は、日本が掲載されていない世界の地図において、対比ができるように同緯度・同縮尺の日本が示されている。

・ これらを総合的に考えると帝国書院の継続使用が適切と考える。

【歴史についての主な意見】

・ 各発行者が、写真やイラストなどの資料を豊富に提示し、時代の特色を説明している。

・ 東京書籍は、章の導入で、小学校で学習したことを振り返るページがあり、学習内容を関連付けることができている。

・ 東京書籍は、単元の最初に写真や絵などがあり、学習に興味をもたせる問いが吹き出しで書かれていて、生徒の学習意欲を高めることができると考える。また、調べ学習をする時のポイントが丁寧に説明されており、自主的に学習ができるよう工夫されている。単元の最後に、時代の特色をとらえる振り返りが設けられており、内容を確認したり、さらに学習を深めたりすることができる活動が取り入れられている。

・ 東京書籍は、年表が見開き 2 ページで示されており、学習した時代と次の時代の出来事を確認することができるようになっ

ており、歴史の流れをとらえやすくなっている。

・これらを総合的に考えると東京書籍の継続使用が適切と考える。

【公民についての主な意見】

・東京書籍は、各章のはじめのページで小学校で学習した語句が並べられており、次のページで「やってみよう」「学ぶにあたって」により学習意欲を高める工夫がたいへんよくされている。

・東京書籍の「公民にチャレンジ」では個人やグループで行う作業や活動により学習を深める設問、また「公民にアクセス」では随所に学習を詳しく説明や関連する内容となっていることで、思考力・判断力・表現力を高める工夫がたいへんよくされている。

・東京書籍は、環境、エネルギー、防災、安全、人権、平和などの今日的な課題にふれている。

・これらを総合的に考えると東京書籍の継続使用が適切と考える。

【数学科についての主な意見】

・各発行者とも共通して基礎基本の確認・定着のための工夫がされている。

・啓林館は、各章の内容に関連した既習事項を「ふりかえり」という枠で学び直すことができるように配慮している。

・啓林館は、巻頭に学習の進め方として「自分の考えを深めよう」があり、話し合いや発表時、まとめるときのポイントが示されている。また、「みんなで話しあってみよう」では言語活動やグループ活動に取り組みやすい構成になっている。

・啓林館には、別冊の「Math Naviブック」があり発展的な内容や探究的な内容、実生活に活用できるような内容が取り上げられている。

・これらを総合的に考えると新興出版社啓林館の継続使用が適切と考える。

【理科についての主な意見】

・各発行者とも、実験・観察が適切で、学習課題を明示してい

る点が良い。

・東京書籍は各単元の導入に「これまでに学んだこと」で既習事項を思い出させる場面があり、次の学習課題を示している。小単元の各章ごとに学習課題に対する結論を「まとめ」として明記しており、課題解決の確認ができるよう工夫されている。

・東京書籍は各章の導入部において、身の回りの事象について考えさせる場面を設け、興味・関心を高め、主体的な取組を促す工夫がされている。「予想しよう」「調べ方を考えよう」を設け、科学的な見方・考え方や科学的の探究する能力の育成など、生徒の科学的概念の形成に配慮した単元構成となっている。

・東京書籍は適切な写真や簡潔で分かりやすい図やイラストを随所に掲載し、生徒の興味関心を高めるとともに、学習内容が深まるように配慮されている。

・これらを総合的に考えると東京書籍の教科書を継続使用が適切と考える。

【音楽科（一般・器楽）についての主な意見】

・教育芸術社は教科書の目次に音楽マップがあり、歌唱、創作、鑑賞の領域を関連付けて学習できるよう工夫されている。

・教育芸術社は「発展的学習」が記されており、他の教科とのつながりに関心をもち、視野を広げて学習することができる。

・教育芸術社は巻頭や巻末に音楽の幅広さを感じさせる、惹きつけられるような写真や説明が多く掲載されており、関心を高める工夫がされている。

・総合的に判断すると、現在採択されている教育芸術社の教科書について継続使用が適切と考える。

【美術科についての主な意見】

・3社を比較すると、各発行者とも、見開きや折り込みなど作品を見せる紙面の工夫がみられる点が良い。

・光村図書は、1年生で学習した内容が2・3年生の内容につながり深まるように学年の系統性を配慮して構成してある。各冊は、「はじめに」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」で構成し、学習を通して身に付けたい力や授業の流れをイメージしやすくしてある点が良い。

・光村図書は「目標」に文頭にチェック欄を設け、生徒自身が学習を振り返り、目標が達成できたかどうか確かめることがで

きるようになっており、意欲的に学習を進めることができると考える。

・総合的に判断すると、現在採択されている光村図書出版の教科書について継続使用が適切と考える。

【保健体育科についての主な意見】

・東京書籍は、各章末に「日常生活に生かそう」を設け、学習したことを日常生活に生かす動機づけとなるような工夫がされている。

・東京書籍は、今日的課題の防災・安全についても取りあげ資料も掲載されている。

・東京書籍の「やってみよう」「考えてみよう」では、自分の意見をまとめて発表したり、話し合ったり、記述したりする活動が多くできるように工夫されている。

・これらのことを総合的に判断すると、現在採択されている東京書籍の教科書について継続使用が適切と考える。

【技術・家庭科についての主な意見】

・東京書籍は、各編の導入ページには、小学校での学習内容や他教科との関連が示された表記になっている。

・東京書籍には、巻末に防災手帳が付属しており、技術・家庭科の学習を生かすことができる配慮がなされている。

・東京書籍は、見開きで見やすい工夫がされていて、生徒が見通しをもって学習に取り組めるようになっている。

・総合的に判断すると、現在採択されている東京書籍の教科書について継続使用が適切と考える。

【英語科についての主な意見】

・三省堂は、既習事項と比較して、新出の文法が掲示され、聞く・話す・読む・書くの4技能を総合的に扱う言語活動が行われるようにたいへんよく配慮されている。

・三省堂は、学んだ内容を生かして自己表現できるように工夫がされており、生徒が見通しをもって主体的に学習を進めることができるようになっている。

・三省堂は、第1学年から第3学年まで書き文字に近い書体を使うなど、小学校外国語活動からの接続にたいへんよく配慮されている。

	<p>・これらのことを総合的に判断すると、現在採択されている三省堂の教科書について継続使用が適切と考える。</p>
--	---